

TCAの合言葉 ①自転車で風を追いかけよう ②健康と友情の輪をひろげよう ③道と自然と文化に親しもう



TCA ニュース

=1998年7月発行= 【No. 122】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061東京都中央区銀座7-15-11 ☎・FAX 03-3541-6540

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しむ ②行楽・旅を楽しむ ③道楽・道を楽しむ ④友楽・友と楽しむ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

REPORT

東京いいとこ 自転車散歩

《東京再発見 報告》

F.C.T.C.: 北川 常夫

日暮里駅前の東口広場に着いたら既に大勢が集まっていた。すぐに近所のコンビニへ飛び込んで人数分のコース案内図のコピーをする。スタート前に全員が自己紹介してから出発する。

駅前を真っ直ぐ進んで三河島駅の裏を荒川保険所まで進んでから左折して北上する。町屋斎場を回り込んで尾竹橋通りに入るまで狭い道を進む。ここまですっと狭い道ばかり走ったが交通量が少なく特徴のあるところで曲がるように選んだつもりだ。尾竹橋・西新井橋を渡ってすぐに左折して首都高速をくぐり西新井大師前の交差点まで道なりに進む。西新井大師は、三月に試走した時はボタン園だったのが好都合に菖蒲が咲いていた。本日、最初の菖蒲見物をする。お参りを済ませてから、参道を抜けて元の交差点に戻り、千住新橋へ向かう。千住新橋のたもとで中村さんは直進し、左折して河原へ行く我々と別れる。用事があるのに、ここまで付き合ってくれて、ご苦労様でした。荒川左岸の河原をのんびり走るが、小菅下水処理場の先は工事中で走れないため綾瀬川へ出る。京成本線の手前で堤防を下りて家並の中を堀切菖蒲園に向かう。やはり、人出がすごい。先に来ていた増田君の指示で自転車を並べてから見物しに行く。全員が出て来たところで、水元でお昼を食べる旨、説明して出発する。磯部はここで戻る。お花茶屋駅から郷土と天文の博物館へ行くが、時間の都合で中には入らず中川橋に向かう。中川の左岸を走ってJR常磐線をくぐってすぐに線路脇の道(隙間?)を通して原田道へ出て左折する。本所工高前を右折して「しばられ地蔵」の南蔵院へ行く。中に入ったら親父が「かっぱの会」のはっぴを着て説明していた。お互いに何の連絡もしていなかったが、こんな所で親子の対面とは。これから歩いて柴又へ向かうそうだ。100円出して縄でお地蔵さんを縛ってから出て来たら、鐘を突いて良いようなのでもう一度中へ入って突いて来た。水元公園も菖蒲が見事に咲いていた。予定どおり13時に到着して、小合溜の脇の草原で解散宣言をしてから昼食にする。

今回、使用したコース案内図は国土地理院の数値地図10000(総合)を使ってパソコン上で拡大して切り取って順番に並べたものを基本に、進む方向を記入したものである。実際に走りながらチェックを行い仕上げていくもので、A4サイズ2頁に5cm×5cmの40個のコマで全コースが案内できる。走りながら番号順に出ている目標を追って行くので、効率の良い走り方ができると思う。自動車のラリーやウォークラリーのコマ地図に近いが、一般の地形図と同様に北を上向きにしているため、地形図を読んでいた人には馴染みが良いはずである。

今回の案内図は自信があるのだが、残念なのは、ほとんどの参加者がしまいこんだままで何ら確認することもなく誘導されるまま走っていたことです。地図を使って地図より見やすくしたつもりなのに利用されることもなく、ましてや評価されることがなかった。みんなで工夫して便利にして行きたかった。

〔参加者〕 加藤 副会長、中村(洋)、磯部、近藤(貞)、会津、山本、佐藤、三橋、飯田、満田、松山、園部、江下、北川(常)、増田、千葉県協会の斎藤さん、中村さん 計17名

〔6月末現在会員数255名〕

『 昭和新撰 江戸三十三観音札所 双輪巡礼 』

- ストレス時代の安息ラン - 「昭和新撰・江戸三十三観音札所 - 双輪巡礼」

観音様の霊場三十三か所を巡ってお参りする「札所巡礼」はかなり古い時代から行われていましたが、江戸時代になると全国的にその信仰が広まり、人それぞれの心願を込めながら、番外を含めて札所から札所へと辿る人が大変多くなりました。

「江戸札所」も元禄の初期(1690～)には金龍山・浅草寺を第一番の札所として、かなりの巡礼で賑わっていたようです。今日でも歴史と伝統をもって盛んに巡拝されているのは西国三十三ヶ所、坂東三十三ヶ所、そして秩父三十四ヶ所をあわせた「百観音札所」です。三十三という数にこだわるのは「観世音菩薩が三十三身にお姿を変えて衆生を救う」ことに起因しています。秩父三十番法雲寺には天文五年(1563)に「西国坂東秩父百ヶ所巡礼只一人」と記された記録が残っているそうです。また、参拝した印しとしてお札を受ける霊場を札所と呼びますが、観音さまを巡拝する多くの場合、心に秘めた願いごと(心願)が叶うよう“般若心経”を写経してそれぞれのお寺(札所)に納めるのが習わしでした。そして、江戸三十三観音札所は明治時代の諸事一新の社会傾向や社寺の消長にともない忘れ去られていったのを、昭和五十一年(1976)に「昭和新撰」として再興したのです。

近頃の江戸札所の巡拝は写経を納めなくてもよいようになってきています。特に初めての方はお寺巡りの体験旅行とでも思って気軽に楽しく「巡拝」すればよいのです。巡拝するうちに札所の対応や自分の生き方など様々な思いが脳裏を駆け巡ることと思います。江戸札所では巡拝する人数がまだ少ないので、本堂の観音さまのまえ - 御宝前 - に案内されて座る機会が多々あります。堂内では今までの街の喧騒がうそのように無く、信じられないほど心が澄んだ自分を取り戻す“静寂な一時”を体験することができます。

東京サイクリング協会は、再興された郷土の札所巡りを「昭和新撰 江戸三十三観音札所・双輪巡礼」と名付け、誰でも何時からでも参加できるように年四回に分け、折々の趣向も加えながら、こころの安息が得られる年中行事として繰り返し実施したいと考えています。

観音札所を第一番から結願まで順を追ってお参りすることを、“順打ち”といい、結願の札所から逆に第一番へお参りすることを“逆打ち”、また、道順を優先してお参りする場合を“抜け打ち”といいます。札所巡りを骨組みにして、土地の名所を尋ねたり、名物や食事も楽しみ、“心の安らぐスタンプラリーの一日”にしたいと望んでいます。

この企画・実行の責任者は加藤元彦です。ご意見、ご提案を期待します。

{ 実 施 要 項 }

実 施 日： 第1回 = 平成10年9月27日(日) 雨天中止
第2回 = 平成10年11月29日(日) 雨天中止
第3回 = 平成11年1月31日(日) 雨天中止
第4回 = 平成11年3月28日(日) 雨天中止

集合場所：各回パレスサイクリング受付テント前(二重橋前警備派出所隣)

集合時間：午前9時 出発は午前9時15分です

(輪行最寄りの駅・地下鉄：千代田線 = 二重橋前駅日比谷側改札2番出口徒歩2分)

コ ー ス：各回の拝観順序で回る予定です

先達案内：加藤元彦

解 散：午後3時頃(遅くとも4時までには打ちあげます)

問合わせ：当日実施出来るか不明な時はパレスサイクリング

そ の 他：御朱印帳は¥1,000(外税)ぐらい、経本は¥500ぐらいで浅草の仏具屋で買えます
落ち着いた雰囲気のある札所では、15～20分程、拝観・黙思する時間をとります
札所でいただく“御朱(宝)印科”は1か所 ¥300です。(34×300 = ¥10,200)
札所では納経をしない代わりに、できるだけ般若心経を唱えましょう。黙思も可

第1回：第一番から第七番までを“順打ち”（七寺）

* 浅草寺前の仏具屋で、御朱印帳や般若心經の經本（小さいもの）を購入する。

第一番	金龍山	浅草寺	(江戸札所道しるべ ¥200)	(台東区・浅草)
第二番	江北山	清水寺		(台東区・松が谷)
第三番	人形町	大観音		(中央区・人形町)
第四番	諸宗山	回向院	“無縁寺”	(墨田区・両国)
- お茶の時間 -				
第五番	新高野山	大安楽寺		(中央区・小伝馬町)
第六番	東叡山	寛永寺	清水観音堂	(台東区・上野公園)
第七番	柳井堂	心城院	“湯島聖天”	(文京区・湯島)
- おそい昼食 -				

推定所要時間：約4時間30分

第2回：第八番から第十六番まで第十一番の後に第二十三番を打って“順打ち”（十寺）

第八番	東梅山	花陽院	清林寺	(文京区・向丘)
第九番	東光山	定泉寺	“夢現地蔵”	(文京区・本駒込)
第十番	湯濤山	浄心寺		(文京区・向丘)
第十一番	南縁山	圓乗寺	“八百屋お七の墓”	(文京区・白山)
第二十三番	金龍山	大円寺	“ほうろく地蔵”	(文京区・向丘)
- 昼食休み -				
第十二番	無量山	伝通院	寿経寺	(文京区・小石川)
第十三番	神齡山	悉地院	護国寺	(文京区・大塚)
第十四番	神靈山	金乗院	“目白不動”	(豊島区・高田)
第十五番	光松山	放生寺		(新宿区・西早稲田)
第十六番	医光山	長寿院	安養寺 “神楽坂聖天”	(新宿区・神楽坂)

推定所要時間：約5時間30分

第3回：第十八番から逐次“抜け打ち”（十寺）

第十八番	金鷄山	真成院	“潮干観音”	(新宿区・若葉)
第二十四番	長青山	梅窓院		(港区・南青山)
第二十二番	補陀山	長谷寺	“麻布大観音”	(港区・西麻布)
第二十番	光明山	和合院	天徳寺 “西之窪観音”	(港区・虎の門)
第二十八番	勝林山	金地院		(港区・芝公園)
第二十一番	三縁山	広度院	増上寺	(港区・芝公園)
- 昼食休み -				
第二十六番	周光山	長寿院	済海寺	(港区・三田)
第二十五番	三田山	魚籃寺	“魚籃観音”	(港区・三田)
第二十九番	高野山	東京別院		(港区・高輪)
第二十七番	来迎山	道往寺		(港区・高輪)

推定所要時間：約5時間30分

第4回：第十七番から番外まで“抜け打ち”（七寺）

第十七番	如意輪山	宝福寺	“中野観音”	(中野区・南台)
第十九番	医王山	東円寺		(杉並区・南品川)
第三十二番	世田谷山	観音寺	“世田谷観音”	(世田谷区・下馬)
第三十三番	泰叡山	瀧泉寺	“目黒不動”	(目黒区・下目黒)
- 昼食休み -				
第三十番	豊盛山	延命院	一心寺	(品川区・北品川)
三十一番	海照山	普門院	品川寺	(品川区・南品川)
番外	龍吟山	千躰荒神殿	海雲寺	(品川区・南品川)

以上で結願します。

推定所要時間：約6時間

EVENT

第34回関東甲信越ブロックサイクリング大会

{開催要項}

- 主催：(財)日本サイクリング協会、関東甲信越ブロックサイクリング協議会
 主管：茨城県サイクリング協会(日本サイクリング協会茨城県支部)
 期日：平成10年9月12日(土)～13日(日) 雨天決行
 大会会場：(受付・出発・到着)茨城県立大子第一高等学校
 受付時間：平成10年9月12日(土) AM8:30～AM10:00
 コース：1. ゆったり茶の里コース 約25km
 2. 大子七福神集印コース 約75km
 (A)40km (B)35km (C)フル集印 70km
 3. 奥久慈ハーフセンチュリーランコース 約70km(健脚ツーリング)
 宿泊地：大子袋田 茨交袋田温泉ホテル(02957-2-3111)
 募集定員：一泊ゆったりプラン 400名(各県協会窓口)
 日帰りいきいきプラン 100名(茨城県協会窓口)
 参加料：一泊ゆったりプラン JCA会員：14,500円 一般参加者：16,000円
 (一泊3食宿泊料、参加賞、傷害保険、完走証、その他諸費用)
 日帰りいきいきプラン JCA会員：3,000円 一般参加者：4,000円
 (昼食、参加賞、傷害保険、完走証、その他諸費用)
 参加資格：健康な男女で、道路交通法を守り自己の責任と能力において、各コースをサイクリングのできる方。(小学生以下は引率者を必要とします)
 申込期間：平成10年6月20日(月)～7月31日(金) 期日厳守・必着
 申込先：申し込みは、参加料を添えて、東京サイクリング協会へ申し込んで下さい。
 ただし、期間内でも定員になり次第締め切ります。
 注意事項：大金事務局に納入された参加料は宿泊予約金に充当しますので、不参加の場合でも返却いたしません。
 自転車の整備、修理は各自の責任で行って下さい。修理車は用意しません。
 救急用品や、自転車修理用具、部品は各自持参して下さい。
 健康保険証は必ず持参して下さい。
 免責事項：大会中の事故や怪我については、傷害保険の給付限度額以上は免責とさせていただきます。
 その他：・前泊(12日夜)および後泊(14日夜)の宿舎を希望される方は申込書にその旨記入下さい。(自分で手配する場合は不要です。)
 ・申込みの案内等詳しくは、TCA事務局にお問合せ下さい。
 ・茨城県以外のかたは、原則的に日帰りプランはご利用できません。

第34回関東甲信越ブロックサイクリング茨城県大会参加申込書

JCA会員番号	-	性別	男・女	年齢	歳
氏フリガナ名		生年月日	大・昭	年	月 日
住所	(〒 -)	都県			
参加回数	今回も含めて	回	電話連絡先	()	
参加プラン	一泊ゆったりプラン		日帰りいきいきプラン		
参加コース	1.茶の里コース 2.七福神コース(A)(B)(C) 3.ハーフセンチュリー				
参加区分	1.自転車	2.輪行	3.自動車	4.サイクルヤマト便	
前・後泊	11日 前泊	水戸・大子	13日 後泊	水戸・大子	